

あの震災を忘れない

真冬の明け方。眠りを破る轟音と突き上げる衝撃、猛烈な横揺れ。家々が土煙をあげて一階から潰れていく。あちこちで人の名を叫ぶ悲痛な声。そこに迫る炎―。

一九九五年一月一七日、都市直下型地震が阪神・淡路を襲いました。十万棟が全壊、七千棟が焼失、六四〇〇名を超す人命が失われました。



発災直後のJR住吉駅南地区

当社社員の多くも被災していましたが、復興に向けて不休の日々が続きました。5件の再開発・共同化コーディネイトと5棟の被災マンションの再建に取り組み、最終的には計32地区のプロジェクトを支援しました。うち9件では建築設計も担当しました。

「防街事業」で燃えないまちをつくる

精神的苦痛や経済的負担を強いられる被災後の共同化やマンション再建事業は、時間との戦いでもありました。事業コーディネーターと設計者が緊密に連携して素早くプランを提示できたこと、デベロッパーや施工業者の選定に際し中立の立場から専門的助言を行い権利者の信頼を得たこ



発災直後の決起集会

JR住吉駅南地区第一種市街地再開発事業（神戸市東灘区）

と、補助金制度に精通しており調達資金を圧縮できたこと、権利者個々の生活設計や資金計画に踏み込んだ助言を行ったことが、早期の竣工に繋がりました。

被災と復興の経験はいま、「防災街区整備事業」の推進に活かされています。密集法に基づき、木密地域における



準組設立後2年で解体着工

上十条一丁目4番地区防災街区整備事業（東京都北区）

耐震化・不燃化の促進と延焼遮断機能の確保を、権利者の財産と生活を守りながら、官民の連携ですばやく成し遂げる「防街事業」。当社はこれまで計10地区において支援を行っています。

そしてこれからも、私たちは防災まちづくりに挑み続けます。「あの震災を忘れない、その悲劇を繰り返させない。」という決意を、胸に刻んで。

都市に夢を、まちに笑顔を。

私たちは、都市再生・公民連携・防災まちづくりの最前線を担う、都市と建築のプロフェッショナルチームです。



株式会社 ユーデーコンサルタンツ UD consultants, Urban Design + Development

info@ud-c.co.jp
https://www.ud-c.co.jp/

本社 〒541-0053 大阪市中央区本町4-7-4 (代表) 06-6265-5588 (設計部) 06-6265-5585
東京事務所 〒108-0014 東京都港区芝5-29-18 03-6453-9311

UD consultants

協力会社、連携コンサルタント、再開発コーディネーターを目指す方を募集しています。